

H28 サイエンスデー

5月27日（金）に、科学のプロセスを多方面から体験し、科学技術等に関する興味・関心を高め、未知の分野に挑戦する探究心や創造性、科学的に問題を解決する力、協働して課題を解決する力を育むことを目的として「サイエンスデー」を実施しました。SSH講演会、ポスターセッション、サイエンスマッチと、まさにサイエンス漬けの充実した一日となりました。

SSH講演会

最先端で活躍する若手研究者から、研究の楽しさや大変さとともに、科学のプロセスを知る機会として実施しています。

今年度は、様々な動物の模様も一つの数式で表すことができるという、大変興味深い内容でした。免疫学を続けていれば京都大学の教授も狙える位置にしながら、「楽しいから」を理由に新たな研究に取り組むなど、その経歴や姿勢は生徒の進路選択において大いに参考になるお話でした。

講師 大阪大学生命機能研究科教授 近藤 滋先生

演題 「模様から考える〈科学の楽しみ方〉」



ポスターセッション

3年生が2年次に取り組んだ、課題研究の104テーマ全てが一堂に会してのポスター発表は熱気に満ちていました。初めはぎこちない発表もありましたが、研究に対する思いや工夫を凝らした発表に、1・2年生も真剣に聞き入り、積極的に質問を行っていました。教員と生徒の代表による評価シートを基に、以下の6テーマが6月15日実施の生徒成果発表会代表に選ばれました。

〈生物分野〉「大根に紫外線を当てたときの

うまみ成分の変化」

〈物理分野〉「吹き矢の研究～効率よく射抜くには？～」

〈化学分野〉「凝固したジュースの均一な融解を目指して」

〈文 系〉「里山の復活は可能か？～生態系に着目して～」

〈文 系〉「現状打”波”！～波力発電がエネルギーの未来を照らす～」

〈S S 部〉「跳ね返るシャトルロック」



刈谷高校サイエンスマッチ

理科、数学、科学英語など10の競技に、1・2年の各クラス3～5名のチームで参加し、科学的思考力・技能、協働型問題解決能力をクラス対抗戦として実施しました。競技は、物理A『エッグドロップコンテスト2016』、物理B『自作望遠鏡』、化学A『謎の白い粉の正体は？』、化学B『分子模型から構造を探る』、生物A『浸透圧』、生物B『植物に関する観察・実験』、数学・情報A『反射』、数学・情報B『立体図形』、地学『気象データから探る』、科学英語『Great Paper JETS!!』の10種目で行いました。1年生も教科書や参考書を片手にチームで協力して取り組んでいました。



生物A『浸透圧』



物理B『自作望遠鏡』